

二学期を振り返って

3年3組 金澤

大成功に終わった東京オリンピックの熱気と新型コロナウイルスの変異株、デルタ株による第五派と呼ばれた脅威が日本中を包み込みながら迎えた八月二十七日の二学期始業式。思い出せば、波乱万丈の四か月でした。部活動を引退し、例年とは異なる夏休みを終えた初日、独特の緊張感と久しぶりに友人と対面した安堵感が交錯する中で、私たち三年生は大きなショックを受けることとなります。それは、修学旅行の中止という内容でした。延期が重なり薄々気づいていた中でも、驚きを隠せなかったことを忘れることはないでしょう。しかし、すべてがうまくいかなかった訳ではありません。残念ながら中止となった修学旅行の代替行事としてバーチャルリアリティーを活用した京都・奈良観光やオンラインでの絵付け体験が実施され、350kmが一瞬で繋がりました。こんな社会情勢だからこそ四時間という短い時間の中で、全力で楽しみ挑戦できた特別な体験でした。制限された生活の中でも多忙な日々から少し解放されながら歴史的景観や背景について学ぶことができとても嬉しかったです。

修学旅行とは異なり、唯一学年単位で実施できた行事は体育祭でした。本番前から短い時間の中で、全員で協力しながら作戦を立てて迎えた本番。どんな形でもあらゆるバトンを繋ぎ、全力で応援しながら走り抜けました。しかし空回りに終わり、結果は空しく最下位。残念な結果ではありましたが、どのクラスよりも団結し、閉会式後も笑い続け、解の公式を叫び続け、自分たちの秋を終わらせることはありませんでした。普段の学校生活における課題解決への扉がなかなか開かれない中での体育祭。以後、静寂に包まれていたクラスが、下がっていく気温に反比例して暖かくなったことに異存はないでしょう。

私たち三年生はこの二学期、楽しみの裏で受験生として勉学に励んできました、私もその中の一人です。先日夢・志宣言が行われましたが、自らの思い描く将来を実現するために娯楽の時間を削り、ペンを片手に問題集と戦った日々は確実に力となっています。クラスでは、授業に対する集中力とテストに対する気概が自然と格段に高まっています。

私はこの二学期で決して諦めず、信じることを学びました。努力はすぐには報われないし、すべてが理想通り捗るわけではない。それでも自らを、そして仲間を鼓舞して努力を続けたときに必ず結果はついてきます。二週間半という短い冬休みで少しでも成長して、自分の夢・志を実現させるために粘り強く戦い続けようと思います。残り三か月の上柴中学校での生活を充実させるため、前だけを見つめてさらなる高みを目指し、自分を追い込む努力を継続します。すべては笑顔で巣立つために。